

遺伝子組換え作物分科会（第21期・第2回）議事要旨

日 時：平成21年8月11日（火）13：00～15：00

場 所：日本学術会議・会議室

出席者：石毛、射場、鎌田、河野、小出、三枝、佐々木、佐藤、塚谷、
西澤、野並、福田

配布資料

資料1：第1回分科会議事要旨（案）

- ・ 事前にメールで各委員に配信した「各委員のGMOに関する現状認識と見解」と参考資料とを、それぞれプリントアウトして持参した。（参考資料：「遺伝子組換え農作物等の研究開発の進め方に関する検討会」の最終取りまとめ、平成20年1月、農林水産省）

議 事：

1. 前回の議事要旨案を承認した。
2. 各委員提出の「現状認識と見解」について。
 - ・ 有志委員から「現状認識と見解」に補足説明があった。
 - ・ その過程で、多くの委員がハードルと考えている諸問題とその特徴について、共通の理解が深まった。ただし、討論を通じて理解が深まったということではなく、説明や見解の表明が行われた結果であり、この「共通の理解」は分科会として確認されたものではないので、委員間の「同意」ではない。
 - ・ 諸問題とは、以下のような点である。
GMO普及状況、隔離圃場のルール、不統一で厳しい規制、複雑な申請など手続き、社会的受容、リスク評価、生態系への影響、そのほか。
3. 分科会の目的とスケジュールについて。
 - ・ 前回に続き、分科会開催のスケジュールと成果の提出法について、意見が出された。
 - ・ とりあえずは分科会設置期間（H21.4.6～H22.4.5）中に作業を終わらせる方向で進めるが、延長の可能性があるという認識になった。
4. 議論の進め方について。
 - ・ 具体的に議論するために、ケーススタディーをしてみることにした。
西澤委員長が一例を示すことになった。
 - ・ 次回分科会前に、メールの添付で各委員に配信される。
5. 次回分科会予定。
平成21年10月8日（木）16：00～18：00